

かしわのもり10周年記念シンポジウム

# 住み慣れた地域で最期まで 生活するために、今出来ること



昔、自宅で亡くなることが珍しくなかった時代もありました。今後多死社会になり、これまでのように多くの人が病院で最期を迎える事が難しくなると言われています。限りある命に向き合う方や、看取りに向き合うご家族へのケアはこれから大切になります。

いのちはつながっている…。

そんなに臆病がらずに、  
人とひとが繋がれば  
乗り越えられることもあります。

「いのちを支える」のが在宅ケアの仕事。  
病や老いとともに生きることを  
支えるために多くの人とつながって、  
大きな力を生み出していきたい。

そんなふうに考えています。



日時：平成24年10月13日(土)

午後1時30分～4時30分

場所：鹿追町 町民ホール 入場無料

北海道河東郡鹿追町東町3丁目2番地 ☎0156-66-3300

後援：鹿追町 新得町 清水町  
北海道看護協会十勝支部  
帯広市医師会 十勝医師会  
かしわのもり家族会  
鹿追町介護支援専門員連絡協議会

助成：公益財団法人  
在宅医療助成勇美記念財団

主催  
北海道帯広保健所、NPO法人かしわのもり

# プログラム

## 第一部 基調講演

- ・「在宅ケアの不思議な力」 秋山正子氏(白十字訪問看護ステーション 統括所長)
- ・「支える医療、福祉を主体としたまちづくり」  
村上智彦氏(NPO法人ささえる医療研究所 理事長)

情報提供 北海道がん対策条例について(北海道保健福祉部健康安全局)

## 第二部 パネルディスカッション

テーマ)「住み慣れた地域で最期まで生活するために、今出来ること」

看取りを経験した家族からのメッセージ(かしのもり家族会)  
高校生から家族へのメッセージ(北海道鹿追高等学校)

- パネリスト : 秋山正子氏  
: 村上智彦氏  
: 宮澤一裕氏(みやざわ循環器内科クリニック 院長)
- コーディネーター: 山田康介氏(更別村国民健康保険診療所 所長)

### 講師略歴

#### 秋山 正子氏

- ・1950年 秋田市に生まれる
- ・1973年 聖路加看護大学卒業後、22歳の時産婦人科の看護師となる
- ・関西で臨床、看護教育に従事
- ・1992年 医療法人春峰会白十字訪問看護ステーション勤務
- ・2001年 (有)ケアーズ・白十字訪問看護ステーション設立代表取締役所長就任
- ・NPO法人白十字在宅ボランティアの会 理事長就任
- ・2010年 「プロフェッショナル仕事の流儀・どんなときも、命は輝く」(NHK)に出演
- ・同年 東京都功労賞を福祉・医療・衛生分野で表彰
- ・2011年 厚生省在宅医療連携拠点事業として「暮らしの保健室」を新宿区戸山ハイツで開設
- ・2012年 第8回ヘルシー・ソサエティ賞医療従事者部門受賞

### 講師略歴

#### 村上 智彦氏

- ・1961年 北海道枝幸郡歌登町(現枝幸町)に生まれる
- ・1979年 北海道薬科大学に入学
- ・1987年 金沢医科大学医学部に入学
- ・1993年 自治医科大学地域医療学教室に臨床派遣助手として入局
- ・2000年 北海道瀬棚町国民健康保険医療診療所のセンター長兼所長に就任
- ・2006年 新潟県湯沢町保健医療センターに勤務
- ・2007年 夕張希望の杜 理事長就任
- ・2012年 NPO法人ささえる医療研究所 理事長就任



お申し込み・お問い合わせ：北海道帯広保健所

☎0155-26-9073  
FAX 0155-25-0864